

荒尾市民病院中期経営計画の実施状況に関する 点検・評価報告書が提出されました

☎財政課財政係 ☎ 63-1289

「荒尾市民病院あり方検討会」(小野友道会長/熊本保健科学大学学長)は、総務省が策定した公立病院改革ガイドラインに基づき、「荒尾市民病院中期経営計画」に関する平成23年度実施状況の点検・評価を行い、報告書を取りまとめました。

本年度は2回の検討会を行い、1月30日(水)に小野会長と阪口峻一副会長(荒尾市医師会会長)から市長に「荒尾市民病院中期経営計画の実施状況に関する点検・評価報告書」が提出されました。

市では、この報告書を最大限に尊重し、引き続き病院の健全経営に努めます。

※報告書の詳しい内容は、市ホームページに掲載しています。

【報告書の主な内容】

●経営効率化の視点

平成23年度の決算状況については、昨年度に引き続き増収増益となり、約3億4,800万円の純利益が生じた。また、医学生と看護学生への奨学金貸付制度の創設や院内保育所の設置など、積極的な展開が図られている。前年度の医師2人の増員に続き、1人の医師増員が図られたことは、同中期経営計画の戦略目標である「医療水準の維持・向上」に貢献するとともに収益面でも貢献しており、特に評価できる。

しかし、収益に対しての材料費の比率が増加傾向にあるため、共同仕入れ体制の構築、単価交渉の強化、可能な範囲でのジェネリック薬品の活用率の向上など、材料費の低減を図る取り組みを強化する必要がある。

●再編・ネットワーク化の視点

現時点では、荒尾・玉名の医療圏で、地域完結型医療体制がある程度整えられている状況である。また、現在の経営状況では、病院の統廃合などの再編は現実的ではないと考えられる。

しかし、生活圏が同じである大牟田市を含めた圏域で荒尾市民病院が担う役割や機能など、地域の実情を踏まえたビジョンを明確にするべきである。新たな病院建設については圏域内の医療資源の有効分配を十分に検討し、将来的な病院経営などを総合的に考慮した上で、具体的な建設計画に着手すべきであるとする。

●経営形態の見直しの視点

平成21年度から地方公営企業法を全部適用し、病院事業管理者を中心に経営改善に向けた取り組みが進められているところであり、現在の経営状況を見る限りでは、前年度同様、経営形態の見直しを行う必要はないと考えられる。

X線TVシステムの新機種を導入しました

放射線技術科技師長 堺峰崇

X線TVシステムは、胃透視などを行う装置として普及していますが、今回は泌尿器科の診断に役立つオプションを装備し、泌尿器科専用として設置しました。

当院で行っている泌尿器科の主な検査は、次の2つです。
①腎う尿管造影検査、主に尿路結石、腎う・尿管がん、ぼうこうがんの診断や血尿のスクリーニング検査
②尿道造影検査、主に前立腺肥大症、尿道狭さくの診断
これらの検査で確定診断がつくと、泌尿器科医師がこの装置を使用し、必要に応じて治療を行います。今回機器を新しくしたことで、透視画像が高画質になり、検査の質が格段に向上しました。患者さんの検査被ばく線量も低減されました。当院では今後も定期的に装置を最新の医療機器を導入し、患者さんが安心できる安全で最良の医療を提供できるように努力していきます。



▶今回導入した最新のX線TVシステム

市民を愛する
市民に愛される 病院へ

正規職員を募集します

- 求人職種 ①看護師 ②作業療法士 ③言語聴覚士
- 応募資格 ①正看護師の資格を持っている人で、昭和42年4月2日以降に生まれた人
②③平成24年度国家試験で資格取得見込みの人
- 試験日 随時募集
- 試験内容 ①個別面接 ②③専門試験と個別面接
- 応募方法
市販の履歴書(写真を添付)に必要事項を記入し、下の申し込み先に持参するか、郵送してください。卒業見込みの人は、履歴書と成績証明書を添えてください。
※詳しくは、市民病院ホームページをご覧ください。
[申・問] 荒尾市民病院総務課総務係 ☎ 63-1115
〒864-0041 荒尾市荒尾2600番地

市有地を売ります

市民病院所有の市有地を、一般競争入札を行って売ります。

- 入札物件区分(土地)
 - ・所在 荒尾市桜山3丁目2185番地8
 - ・登録地目 雑種地
 - ・面積 1,852㎡
- 入札日時 3月26日(火) 10時
- 場所 市民病院 第三会議室



▶物件を西向きに撮影。

詳しくは荒尾市民病院ホームページをご覧ください。

☎市民病院総務課(野村・上村) ☎ 63-1115

